

整理番号	34-2	事務事業名	下水処理センター整備事業	作成部署	水道部下水道課	電話	内線882
事務区分	■自治事務 □法定受託事務	部長職名	赤沼正三	課長職名	笠原昇	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	S45	根拠法令等	下水道法第3条				
〃終了予定年度							
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	道営北広島団地の開発を契機に、昭和45年(1970年)に事業着手して以来、快適で衛生的な生活環境の確保や、河川等の公共水域の保全を図るため、市街地を順次事業区域に編入して事業を進めてきた。						

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	高い都市機能を持ち、活力にあふれるまち	(第5章)
	節	下水道とし尿処理	(第6節)
	施策	施設の整備	(第1施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	下水道事業認可区域(市街化区域)内で発生する汚水(家庭汚水、工場排水等)	
	意図(何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	市街地における快適で衛生的な生活環境を確保し、公共水域の水質を保全するために、汚水管渠を経て流入した汚水から汚濁成分(汚泥)を分離し、処理水を河川放流する。さらに、汚泥を減量化(濃縮・消化・脱水・乾燥)し、肥料として有効利用(緑農地還元)を図る。	
手段(ここから活動指標を導きます)	16年度まで	北広島市下水処理センターの汚水処理施設は、1系目(S45~S53)、2系目(S59~H7)と整備を進め、H9から3系列目の増設中であり、H12までに初沈、反応タンク、終沈を整備し、H13に3系列1池目の機器設置が完了した。これに伴い必要となる汚泥処理施設についても、H12に消化タンク、H14にガスタンク、H16には汚泥脱水3号機(スクレュープレス)の増設を行っている。また、老朽施設についても、H15にNo.1乾燥機の更新を行っている。	
	17年度	沈砂池ポンプ棟の杭基礎及び流入渠の一部埋設工事。1系水処理棟改修工事。2系水処理棟覆蓋工事。沈砂池ポンプ棟実施設計委託(機・電)。機器更新設計委託。放流水質設定委託。沈砂池ポンプ棟施工監理委託。下水道事業認可変更設計委託。	

2 実施(ドウ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金	275,500	191,300	139,000	181,600
	道支出金				
	地方債	210,300	144,900	111,100	157,800
	受益者負担金等	23,400	16,200	13,900	2,000
	下水道使用料	98			15,600
	①合計	509,298	352,400	264,000	357,000
人件費(概算)	②人数(年間)	2.30	2.30	2.30	2.30
	③1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	④=②×③	20,700	20,700	20,700	20,700
総事業費①+④		529,998	373,100	284,700	377,700

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	整備済み汚水処理能力(m <sup>3</sup> )	26,833	26,833	26,833	26,833
	処理汚水量(実績・予測)(m <sup>3</sup> )	20,559	20,437	21,500	22,500
	乾燥汚泥量(実績・予測)(t)	629	686	700	710
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	整備済み汚水処理能力(m <sup>3</sup> ) ÷計画処理汚水量(29,539m <sup>3</sup> )	90.8%	90.8%	90.8%	90.8%
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)					

整理番号 34-2

### 3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	全国的に人口減少傾向にあり、当市でも人口伸び率の鈍化に伴い計画人口を見直し、施設計画規模の縮小を検討する必要がある。また、国庫補助金の廃止・縮減の影響により、下水道事業補助も削減の方向にあり、市の負担増が予想される。
---------------------------------	--

#### 【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 改善の余地あり(⇒改善の方法記入)	下水処理センターは、家庭や工場からの排出汚水を適切に処理する上で、最も重要な施設であり、施設整備や機器更新を、市が計画的に進める必要がある。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 改善の余地あり(⇒改善の方法記入)	下水道は、環境保全のための最も基本的な社会資本であり、加えて汚泥の有効利用(緑農地還元)により、近年の循環型社会の一翼を担っている。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 改善の余地あり(⇒改善の方法記入)	計画に従い、適切に対応している。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 改善の余地あり(⇒改善の方法記入) <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない		

#### 【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	<input checked="" type="checkbox"/> 十分成果が上がっている <input type="checkbox"/> 概ね成果が上がっている <input type="checkbox"/> あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> 成果が上がっていない	計画汚水量に対して処理能力9割の施設整備が完了しており、汚泥処理についても、年間約680tの乾燥汚泥全量が肥料として有効利用されている。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	<input type="checkbox"/> 十分効率的 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効率的 <input type="checkbox"/> やや非効率的 <input type="checkbox"/> かなり非効率的	機器更新に際しては、当初の設計書や補修履歴等が必要であり、その都度、過去の図書を調査し、更新協議資料を整えている状況である。	下水処理センター機器の体系的調査診断結果のデータベースを作成した。今後、より効率的で計画的な機器更新を進めることができる。

#### 【事務事業担当部局内優先度】

※部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A     B     C

### 4 総合判定と今後の方向性

	判定	今後の方向性や改善方法など
<b>【1次評価】</b> 事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	<input type="checkbox"/> 拡大・重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの上で継続する <input type="checkbox"/> 統合する(検討含む) <input type="checkbox"/> 縮小する(検討含む) <input type="checkbox"/> 廃止・休止する(検討含む) <input type="checkbox"/> 終了	都市計画マスタープランの策定に伴い、下水道全体計画の量的な見直しを行った結果、計画人口が8万人から6万9千人に下方修正される見込みであるため、今後、水質設定の検討を加えた上で、新たな目標人口等に応じた適切な規模の処理施設を計画する。
<b>【2次評価】</b> 行財政構造改革推進本部の総合判定	<input type="checkbox"/> 拡大・重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの上で継続する <input type="checkbox"/> 統合する(検討含む) <input type="checkbox"/> 縮小する(検討含む) <input type="checkbox"/> 廃止・休止する(検討含む) <input type="checkbox"/> 終了	1次評価のとおり。上位計画との整合を図りながら、適切な整備計画により整備していく。